

子供の体験や学びを支える地域ぐるみ活動

栃木県佐野市

活動名

多田っ子広場子ども教室

関係する学校

多田小学校

活動区分		※ H26 年度の実績（補助の有無については H27 年度の状況）						
基本データ	土曜日の教育活動	コーディネーター	子供の平均参加人数	開始年度	国庫補助	学習支援	ICT活用	企業・NPOとの連携
	学校支援地域本部	コーディネーター	ボランティア参加数	開始年度	国庫補助	学習支援	ICT活用	企業・NPOとの連携
	放課後子供教室	コーディネーター数	子供の平均参加人数	年間開催日数	国庫補助	学習支援	ICT活用	企業・NPOとの連携
		1人	19人	29日	有	無	無	無
コミュニティスクール	実施場所					開始年度	放課後児童クラブとの連携	
	図書室、校庭、余裕教室					19年度	連携なし	
指定日						委員数	児童生徒数	学級数

活動の概要・経緯

地域子供教室として開始された土曜日の体験活動に加え、1年生が上学年と下校できるように待機している時間の活動も始める。主に土曜日の体験活動は、多田っ子広場実行委員会が中心となり、昔の遊び、カップラーメン杯ドッジボール大会、フライングディスク大会、郷土料理耳うどん作り等を行っている。待機時間の活動は、主に民生児童委員が中心に組織され、読み聞かせや宿題、オセロゲーム、お手玉、あやとりなど、児童は自由な時間を過ごす。また稲作体験、ジャガイモやサツマイモの植えつけ収穫、区内にある推定樹齢700年のこぶけやきまでの散策、石灰会社での地質の勉強など学校の要望を受け学年に応じた活動を行う。

特徴

【特徴的な活動内容】

- ・多田っ子広場実行委員会は、公民館長や公民館主事、町会長、PTA、育成会、老人会、駐在所など様々な団体に組織化されている。地域に開かれた学校、地域の中にある特色ある学校という観点で、小学校を拠点にし、地域にある人材を発掘・活用し、児童に体験活動などを行うほか、地域ぐるみで児童の安全安心な居場所をつくっている。
- ・体験活動と待機型の活動に関わるボランティアを別々に組織することで、児童に関わる大人の負担を軽減している。

【実施に当たっての工夫】

- ・小学校との連携を密にすることで、小学校の要望を受けた総合的学習の補助的な機能を果たす活動を行っている。
- ・活動がない日でも、ボランティアが自由に小学校に来ることができるよう、小学校側での受け入れ態勢をしっかりと作っている。
- ・公民館、育成会、PTA、待機型子供教室など、それぞれに役割を持たせ実施することで、他人任せにしない体制を作っている。

事業を実施して

- ・地域全体で小学校を支えることで、放課後子供教室の時以外でも、地域の方が常に学校行事に招待され参加し、児童と顔見知りになることができる。誰がどこに住んでいるのか、兄弟姉妹は何年生にいるのか、など長くボランティアとして関わっているとわかるようになる。
- ・小規模校のメリットを生かし、十数人の1年生の待機型放課後子供教室では、児童の自由な時間や気持ちを大切にしている。どんな小さな「できた！」でも、児童の目線にたって褒めたりと一人一人を細やかに見ることができる。

その他

- ・地域に住む方の発掘を行うことで、地域で活動する方が増えていくだけでなく、地域の歴史や自然、伝統など継承していくことができる。
- ・放課後子供教室に関わる大人が地域参加をすることにより、子供の成長の見守りや安心安全な居場所を提供する機能だけでなく、保護者、町会役員、公民館関係者などそれぞれの役割にこだわることなく大人同士が同じ目標をもって活動することができる。

郷土料理
「耳うどん作り」



待機型放課後子供教室

